

熱い走りで肝属に元気を与える!



CONTENTS / 目次

広報かのや No.338 February 2020

- 04 特集
「地域ぐるみで鳥獣被害を防ぐ！」
- 08 平成 30 年度決算を報告します
- 12 温故写新 / カノヤタイムトラベル
- 13 夢のかけはし「前村 悦子 さん」
- 14 みんなの Hot News
- 16 農福連携で笑顔広がる♪
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 22 すこやか直幸便 /
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 23 輝け! ジュウダイ / おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 みんなのフォトネタ
- 26 かのやんよかもん
- 28 プレゼント・映画情報



第 67 回鹿児島県下一周駅伝 肝属チーム

2月15日(土)～19日(水)に行われる「第67回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」。今年の肝属チームは社会人13人、大学生4人、高校生13人の計30人の選手と吉田幸三監督をはじめとするコーチ・スタッフ7人で構成されます。昨年の肝属チームの総合順位は5位。今年は昨年果たせなかった8年ぶりのBクラス優勝と郷土入りする第4日目の日間優勝を目標に掲げています。主将を務める橋口俊彦選手は「昨年よりチーム力の底上げができています。53区間(584.1km)をチーム一丸となって全力で走りきり、肝属地域の方に元気を与えたい」と抱負を語ります。肝属を代表して力走する選手たちに熱い声援をよろしくお願ひします!



12月15日に行われた選考会の様子。激しい競争を勝ち抜いた選手が登録を勝ち取りました。

今月のカバー



弓道で心身を鍛錬する

現代では鳥獣を捕獲するための道具の一つとして主に猟銃が使われていますが、鉄砲が伝来するまでは、弓矢などが使われていたとされます。表紙は市弓道場で開催された新年射会の様子。昔の狩猟道具は、一連の所作を通して心身を鍛錬する弓道という日本の武道として、幅広い世代に受け継がれています。